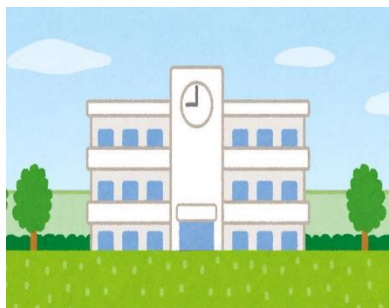


西浮通信

令和4年4月28日
NO. 380
北区立西浮間小学校
校長 小島 みつる



令和4年度 北区立西浮間小学校学校経営方針

校長 小島 みつる

学校教育目標 **自ら育つ子**

現状も含め、これからの予測困難な社会で、それぞれに思い描く幸せを実現させていくためには、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え判断し、行動していくことが何よりも大切です。また、既存の物事ではなく、その時点、状況でベストだと考える何かを創造することも重要です。

そのために必要な力はたくさんありますが、本校では下記の5つの力を取り上げ、それらを高める取り組みを充実させ、「自ら育つ子」を育成してまいりたいと考えています。

児童の「なぜだろう?」「知りたい」「調べてみよう!」という知的好奇心と自ら学ぶ意欲を高められる、楽しく、分かる授業となるべく、日々の授業改善・充実を図ってまいります。今年度も、ご理解とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

「自ら育つ」ために育てたい力

- ・自主性 人に言われる前に、**やるべきこと**を自分でやる力
- ・想像力 実際には経験していない事柄や人の思いなどを推し量る力
- ・主体性（自己決定力） **何をすべきか**自分の意思や判断で行動する力
- ・創造力 今ここにはない新たなことを創り出す力
- ・協調性（よりよい仲間づくり） 互いに高め合い、目標や目的に向かって仲間と助け合う力



令和4年度の重点（育てる子供の姿）

「主体性と創造力」の育成

- ◎自分から考え、考えたことを生かし、行動できる子
- ◎見通しをもって物事に主体的・協働的に取り組む子
- ◎自己有用感をもち、互いの良さを認め合う子ども
- ◎気持ちよいあいさつと、適切な言葉遣いができる子
- 自分のため、人のため、みんなのために頑張れる子
- 相手の立場に立って考え、人の思いを想像できる子
- どんなときにも命と身体を大切にし、自分をよりよく鍛えられる子



そのために次の4点から教育活動を充実させていきます。

いじめを見逃さない・許さない学校 ～「いじめをしない・させない・ゆるさない」の徹底～
確かな学力の向上 ～生涯にわたって生きてはたらく知性の基礎を育てる～
豊かな人間力の育成 ～仲間と心を通わせ力を合わせて、よりよく生きる力を育てる～
健全な体力と気力の育成 ～あきらめず、投げ出さず、頑張りぬく活力のある人間を育てる～